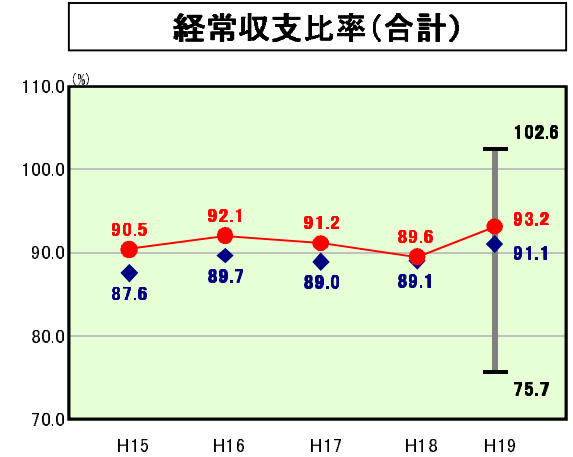


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

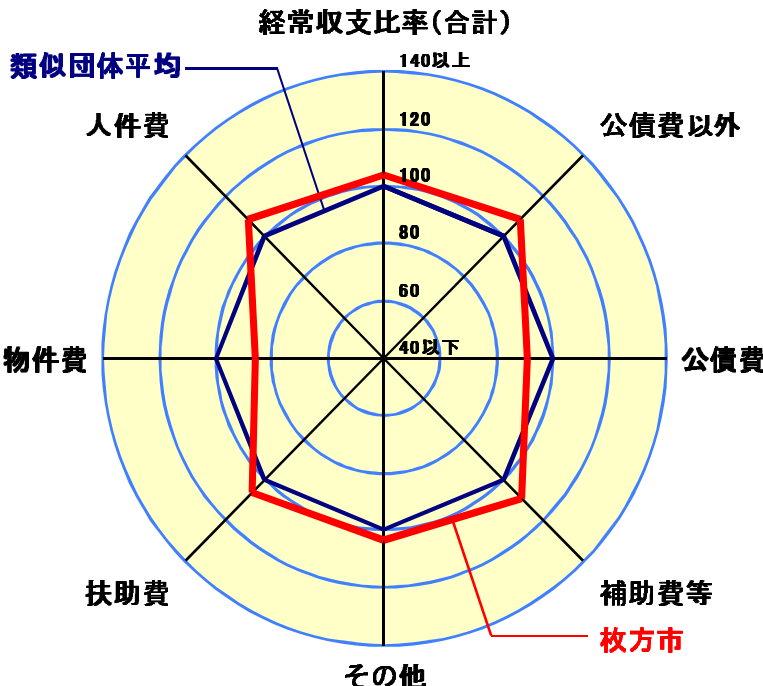
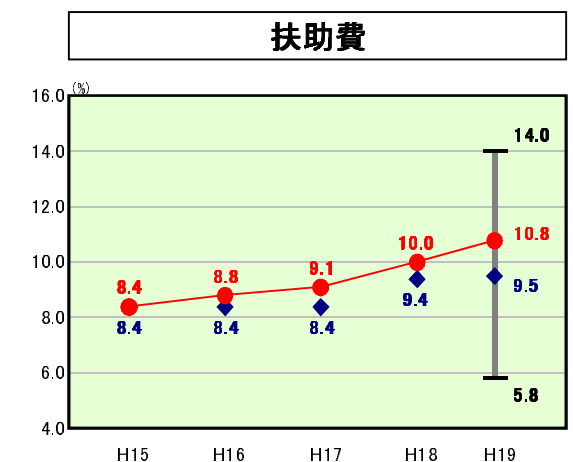
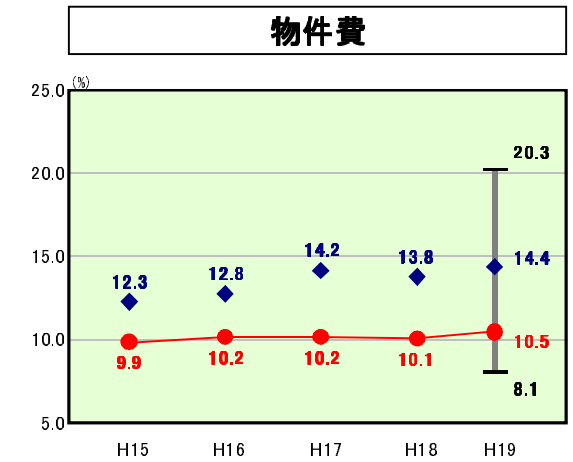
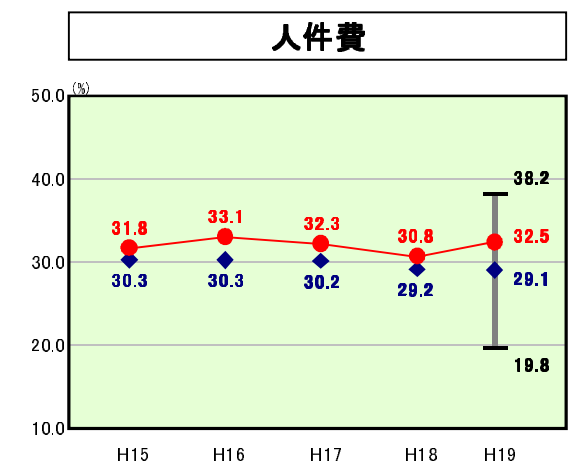
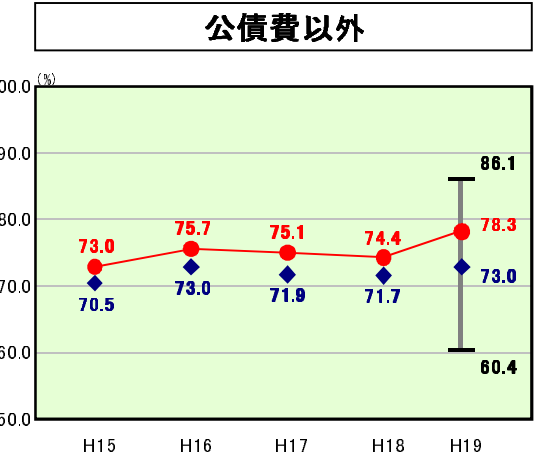
大阪府 枚方市

経常収支比率の分析



当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 T
類似団体内最小値 I

人口 405,865人(H20.3.31現在)
面積 65.08 km²
歳入総額 112,035,978 千円
歳出総額 110,888,118 千円



※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
 ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
 ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

- 人件費(別掲「人件費及び人件費に準ずる費用の分析」を併せて参照)**
 人件費は、類似団体平均は上回っているものの、平成10年度をピークに減少傾向にある。平成19年度においても116人の人員削減、給与削減(3%削減平成19年4月～平成19年6月 1.5%削減平成19年7月～平成19年12月)などの取り組みを行った。しかし、定年退職者数が(71人→122人)と増加したため退職手当が14億6,300万円の増額となり、総額では6億7,600万円増となった。今後も、構造改革アクションプランに掲げる目標である、平成25年4月1日まで700人の削減を達成するための適正な人員管理や給与の適正化に努めていく。
- 公債費(別掲「公債費及び公債費に準ずる費用の分析」を併せて参照)**
 公債費は、平成16年度から類似団体平均を下回っている。これは、学校教育施設等整備事業債や厚生福祉施設整備事業債などの既発債の償還完了によるものである。しかし、今後、東部清掃工場等の大規模プロジェクトや臨時財政対策債の償還開始により、減少傾向に歯止めがかかることが予想されるため、地方債残高の推移に注意を払い、今後の市債発行については、一層注意深く行っていく必要がある。
- 普通建設事業費(別掲「普通建設事業費の分析」参照)**
 普通建設事業は、火葬場建設及び周辺整備事業・東部清掃工場(第2清掃工場)の整備により増額48億9,900万円増額となったが、昨年度の総合文化施設用地の土地開発公社からの買戻し73億9,300万円が皆減となったため総額で31億6,200万円減額となった。このことにより、類似団体平均を大きく下回っている。今後は、学習環境

